

令和元年 11 月吉日
(令和 2 年 1 月 改変)

調査にご協力いただいた皆さま

公益財団法人日本野鳥の会
自然保護室

環境省請負「平成 30 年度ツル類(ナベヅル、マナヅル)の飛来状況調査」 ご協力のお礼

昨年度はツル類の飛来状況調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

本調査は、ナベヅル、マナヅルの越冬地の集中化対策の一環として毎年実施しています。皆様のご協力により多くの情報が集まり、国内に越冬地を増やすための貴重な基礎データを得ることができました。

昨シーズンの結果をお送り致しますので、ご査収ください。情報の修正や加筆等ありましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。

今後もツル類の保護のため、引き続きご協力を賜りたく、お願い申し上げます。

記

- ・平成 30 年度ツル類の飛来状況調査の結果（概要版）

担当 自然保護室 伊藤
Eメール：hogo@wbsj.org（自然保護室）
電話：03-5436-2633

以 上

環境省請負「平成 30 年度ツル類の飛来状況調査」の結果（概要版）

（公財）日本野鳥の会 自然保護室

（1）目的

ナベヅル、マナヅルの新越冬地形成等保全の基礎データとして、鹿児島県出水地方以外の国内において確認された飛来及び越冬の情報収集を行なった。

（2）方法

野鳥観察・保護団体、自治体、報道情報を対象に、それぞれの地域で目撃された情報を収集した。渡り途中の一時的な立ち寄りについても含めた。

・自治体

全国の都道府県及び過去にナベヅルまたはマナヅルの飛来記録のある市町村に対して調査票を送付し、飛来情報の提供を依頼した。

・野鳥及びツル関連団体、個人

全国の野鳥観察・保護活動を行っている日本野鳥の会の連携支部やツル類の観察・保護団体、個人に調査票を送付し、飛来情報の提供を依頼した。また、各団体が定期発行している機関誌を閲覧し、情報を抽出した。

・報道情報

新聞・雑誌の記事情報データベースにおいて、「ナベヅル」「マナヅル」をキーワードに検索し、飛来情報を抽出した。

（3）調査期間

平成 30 年 10 月 1 日～平成 31 年 3 月中旬

※調査期間後も飛来情報は逐次追加した。

環境省委託「平成30年度 ナベツル、マナヅルの全国飛来状況調査」調査用紙

【対象期間】 2018年10月～2019年2月

【対象地域】 鹿児島県出水市以外の全国

所属団体・自治体名
氏名
電話番号

部署名
メールアドレス
FAX

一次より、電子データをお送りしますのでご記入ください。
御所属先の代表メールアドレスがある場合は、そちらをご記入ください。

1. 越冬・飛来情報の有無 **あり** **なし** (○で囲む) ※一時的な飛来、上空通過も含まれます。

2. 飛来状況の詳細

都道府県	市町村	詳細地		種類	確認個体数 (うち成鳥、幼鳥)	観察期間	飛来地の環境	ねぐらの場所	生息を脅かす要因	備考 (情報元、採種物、環境変化等) ※可能な範囲で
		地名等	情報の公開可否 ※報告書掲載は 4月以降							
【例】 熊本県	五名市	楳島町字栄(楳島干拓)	○ or x	マナヅル	3(成鳥2、幼鳥1)	2017/11/16- 2018/1/18	水田	熊本県●●川の中州	散歩や観察者の接近により飛び去った。 時々、群雛の使用(有害鳥獣駆除)もあるため、影響があるとも思う。	ねぐらが年々縮小している

※ 飛来地の地図や写真等がございましたら併せてご送付ください。
 ※ ナベツル、マナヅル以外のツル類(クロツル、カナヅル、ソデグロツル等)を確認された場合も参考にお知らせください。
 ※ 記入欄が足りない場合は、コピーや行の追加等によりご利用ください。
 ※ 個人情報については、本業務のみの使用に限り、公開することはありません。
 ※ 締め切りは**2019年2月25日(月)**です。

【送付先】(公財)日本野鳥の会自然保護室
 担当：野口、伊藤 E-mail: hogo@whs.jp
 〒141-0031 東京都品川区西五反田3-9-23丸和ビル
 FAX: 03-5436-2835 電話: 03-5436-2633

(4) 結果

各地から寄せられた情報のうち、飛来が確認されたのはナベヅルが 16 道県 44 か所で合計 109 件、マナヅルが 12 県 20 か所で合計 50 件だった。なお、これらの情報には詳細不明のものも含まれている。

このうち、一か所で連続 10 日間以上の滞在が確認されたのは、ナベヅル 17 例、マナヅル 11 例であった(表 1 及び 2)。この中で、越冬期の最盛期である 1 月中に滞在が確認された個体を出水以外で越冬した個体とした。ナベヅルでは 10 か所で合計 331 羽、マナヅルでは 7 か所で合計 66 羽であった。

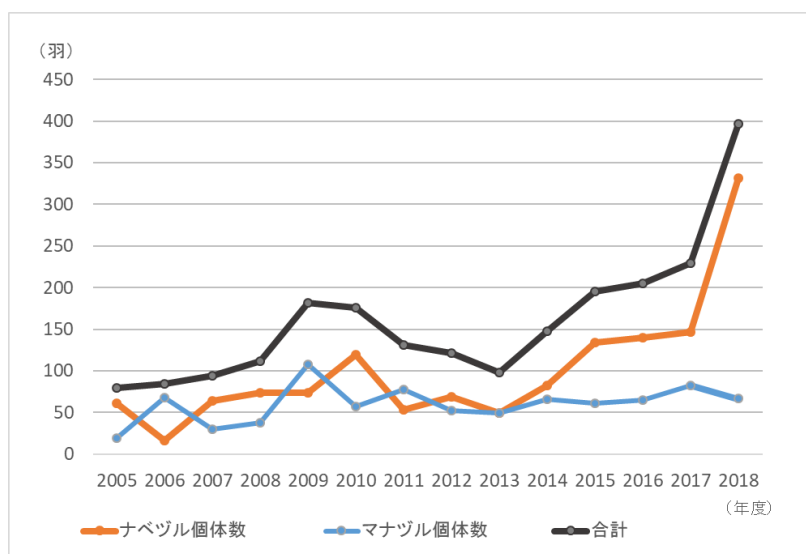


図1 出水以外の国内におけるナベヅル及びマナヅルの越冬状況の推移(個体数)

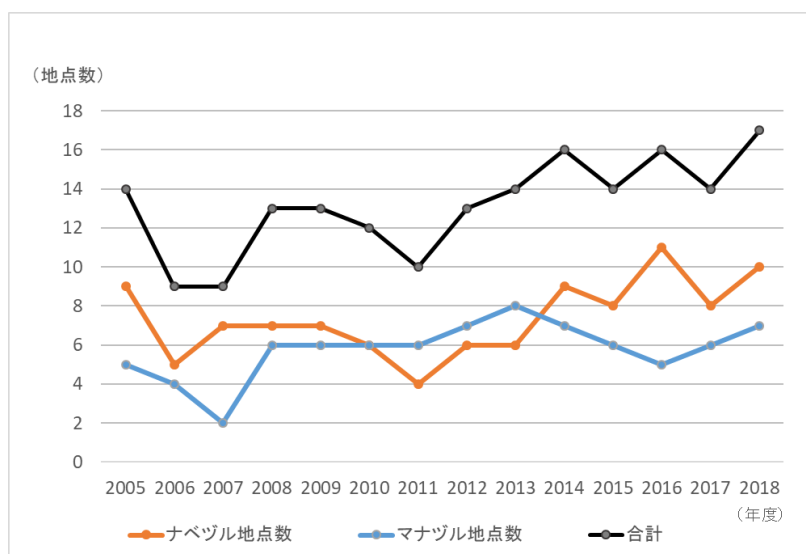


図2 出水以外の国内におけるナベヅル及びマナヅルの越冬状況の推移(地点数)

表1 一か所で連続 10 日間以上の滞在が確認された地域(ナベヅル)

No.	都道府県	市町村	個体数 (計)	個体数 (成)	個体数 (幼)	観察期間 (飛来)	観察期間 (飛去)	滞在 日数	越冬地 域	越冬数
1	愛知県	弥富市	2	2	0	2018/12/1	2019/1/7	38		
2	和歌山 県	美浜町	46	38	8	2018/12/2	2019/3/9	98	●	46
3	島根県	出雲市	1~2	—	—	2019/1/31	2019/2/22	23		
4	島根県	安来市	1	1	0	2018/12/2	2019/2/23	84	●	1
5	山口県	周南市	7	7	0	2018/11/14	2019/3/5	112	●	7
6	徳島県	鳴門市	3	2	1	2018/11/14	2019/12/2	断続的に 12日間		
7	徳島県	阿波市	1	—	—	2019/2/9	2019/2/21	13		
8	愛媛県	西条市	4~17	—	—	2018/10/31 2018/12/1	2018/11/26 2019/3/1	118	●	7
9	愛媛県	西予市	2~90	—	12+	2018/10/30	2019/3/6	128	●	90
10	高知県	四万十市	1~102+	—	—	2018/10/29	2018/12/13	46		
11	高知県	香南市、南国市	21~58	—	—	2018/10/31	2019/3/14	断続的に 47日間	●	4
13	佐賀県	佐賀市	2	1	1	2018/11/5	2019/2/24	112	●	2
14	長崎県	諫早市、雲仙市	1~435	—	—	2018/10/3	2019/3/5	断続的な 記録(※ 1)	●	161(※1)
15	熊本県	玉名市	8	5	3	2018/12/12	2019/2/10	61	●	12
16	熊本県	玉名市	3	2	1	2018/12/12	2019/2/10	61		
17	宮崎県	宮崎市	1~3	2	1	2018/11/20	2019/3/4	105	●	1
越冬地域と越冬数(合計)									10	331

※ 1 長崎県諫早市・雲仙市のナベヅルの渡来数が今年は、大きな群れが頻繁に確認されており、群れの大小に関係なく1月の飛来個体数を越冬個体数と見なした。

※ 出水のナベヅルの渡来数 1月6日時点 10,572羽(今季最多数 12月1日調査14,286羽)(出水市ツル博物館HP)

表2 一か所で連続 10 日間以上の滞在が確認された地域(マナヅル)

No.	地図 番号	都道 府県	市町村	個体数 (計)	個体数 (成)	個体数 (幼)	観察期間 (飛来)	観察期間 (飛去)	滞在 日数	越冬地 域	越冬数
1	M2	石川県	加賀市、小松市	1	1	0	2018/10/24	2018/11/13	21		
2	M4	京都府	京丹後市	1	1	0	2018/11/25	2018/12/28	34		
3	M5	兵庫県	豊岡市	1	1	0	2018/12/30	2019/2/28	61	●	1
4	M9	高知県	四万十市	7	5	2	2018/11/4	2019/2/10	99	●	7
5	M11	佐賀県	伊万里市	5	4	1	2018/11/23	2019/2/10	80	●	5
6	M12,13	長崎県	雲仙市、諫早市	1~125	—	—	2018/11/21	2019/2/22	—	●	22(※1)
7	M18	熊本県	玉名市	3	2	1	2018/11/2	2018/12/24	53		
8	M18	熊本県	玉名市	1	1	0	2018/11/17	2018/12/20	34		
9	M18	熊本県	玉名市	24	14	10	2018/11/20	2019/2/17	90	●	24
10	M19	熊本県	天草市	4	2	2	2018/12/9	2019/2/26	80	●	4
11	M20	鹿児島 県	薩摩川内市	3	—	—	2019/12月 下旬	2019/2月ごろ	40+	●	3
越冬地域と越冬数(合計)										7	66

※1 長崎県諫早市・雲仙市のマナヅルの越冬個体数は1月中の大きな群れをのぞく飛来個体の平均値とした。

※ 出水のマナヅルの渡来数1月13日調査 3,057羽(今季最多数)(出水市ツル博物館HP)